

2026年1月26日

子ども福祉部会研修会『市立中学校の部活動地域移行（展開）について』記録

テーマ	市立中学校の部活動地域移行（展開）について
参加者数	一般参加者 11名（部会員含む）、宝塚市教育委員会学校教育課 3名
開催日・場所	2026年1月26日（月）コミュニティセンターひばり会議室にて
配布資料	①宝塚市における部活動地域移行（展開）について（2025年11月8日） ②宝塚市における中学校部活動の地域移行について（2026年1月26日）

説明概要

配布資料に沿って説明が行われ、下記の補足説明があった

- ・農村部と都市部では受け入れ団体数が違うので、長いスパンで考えている
 - ・校内で活動できず移動する生徒がいる場合、活動開始時刻を遅らせる団体もあると思う
 - ・公共交通手段での移動となる。自転車通学禁止のため自転車を使う場合は一度帰宅する
 - ・移動時の事故は文化部も含めスポーツ保険の対象となる
 - ・従来の部活と比べて加入率が大幅に下がるのが課題
 - ・活動団体を設立せずに学校施設を放課後の居場所として活用する取組も検討中
- 例) 放課後、地域の人が生徒に料理を教える
- スポーツの好きな先生が放課後に生徒とスポーツをする
- 活動場所を1か所に固定せず、学校を巡回してヨガを教える
- ・運営費、登録費などは原則として受益者負担だが、登録団体が学校を利用する場合は学校の備品や学校施設を無償で貸し出すことで受益者の負担を下げる。登録団体には月額費用5000円を超えないようお願いしている。収益性のある団体には学校施設を貸さない
 - ・地域移行によってバトミントンなど新たにできた競技や廃部から復活したクラブ、元プロ監督が指導ボランティアを申し出てくださったクラブもある
 - ・放送部は学校活動に必要な放送委員会として存続する
 - ・文化部は子どもたちの発表の場を設けることを検討
 - ・部活動地域移行に関する小中学生保護者に向けたお知らせは保護者連絡ツール「すぐーる」でも配信する

質疑応答・ご意見（要約）

Q)いろいろな活動が紹介されているが、本当に子どもが希望した活動なのか？

一度帰宅して自転車移動するのは非現実的。活動場所をつなぐバスなどがあれば良いが

A) 子どもたちへのアンケートで1番人気のバドミントンは地域移行でクラブができた。南ひばりガ丘中学校の活動については資料を参照。移動手段は課題と思うが費用の面からバスは出せない。自転車通学は安全上問題があるので公共交通での移動をお願いする

Q)週当たりの活動日数は決まっているのか？

A)原則として平日は1日2時間以内で週4日以内、土曜日、日曜日はいずれか1日で1日3時間以内の活動または1週間あたり11時間以内での活動としている。実際の活動日は各団体によって違うのでHPに一覧表を載せる準備をしている

Q)指導者にも生活がある。月額5000円以内の受益者負担で指導ボランティアのモチベーションは下がらないのか？

A)高校の部活動につなぐためのボランティアとして指導を名乗り出してくれている

意見)月額費用だけの負担と思い込み、遠征費などの別料金におどろく保護者もいる

A)各運営団体の経費説明を明確にするようにする

Q)地域クラブ参加中に問題が起きたらどうすればよいか？

A)地域クラブ活動中に発生した事故やトラブルに関する責任は原則として運営団体で対応することになる。ただし、生徒や保護者と地域クラブ活動の運営団体との間で解決が困難な事故やトラブルについては教育委員へ相談を。クラブ内におけるいじめや体罰などの問題については一義的には運営団体で対応していただくことが基本だが、こうした問題は学校生活にも大きく影響することから教育委員会と地域クラブ活動が連携して問題解決に当たる。運営団体に対しては費用や教育に関する研修を行い、ガイドラインを遵守してもらう。市の指導に従わない団体は認可を取り消す。

市教委が運営団体に対して、何の法律に基づいてどこまで指導するか、学校以外の場所で活動している場合どこまで介入できるのか検討中

Q)入会前の体験会はないのか？

A)従来の部活紹介のような形はとれないが参加団体に体験会を設けてもらえないか依頼中。運営団体にもよるが保険料の負担はあるかもしれない。複数団体の体験会に参加した場合、それぞれの団体に保険料を支払わなければならない場合もあると思う

Q)初心者が入っても指導してもらえるか？

A)市が地域移行クラブとして認定した団体は初心者も受け入れる。プロを目指す厳しい団体は地域移行クラブとして認定しないが、紹介はするので自分で詳細を調べて欲しい

意見)自分の学校は今の部活動数の半数以下になる。体験入部を選ぶときにこのような紙資料の一覧表ではなく、子どもたちがイメージしやすい方法で提示してほしい

A)1月中に各種目の代表者と話し合い、PR方法についても協議予定。HPで映像を見てもらえるようにしたい。文化部については発表の場を設けることを検討

Q) 小学校では校区外に一人で出てはいけないとされている。校区外のクラブに参加する場合、制服でなく一旦帰宅して着替えてから行く必要はあるのか？

A) 制服のまま行って構わないが、団体によっては”ユニフォーム着用で来る”などのルールがあるかもしれない

Q) 複数の学校から参加者がいれば制服も色々。制服のままで帰りが遅くなった場合に補導などのトラブルが起きないか？

A) 学校内の活動なら 19 時までの活動を想定している（団体が夜間の学校施設利用登録をした場合は 20 時までを想定）。非行の問題は警察と市教委が協力する

Q) 行き帰りの保険は？

A) 文化部も含めスポーツ保険の対象

Q) サッカーなど多数のチームがある場合、どこに入ってもよいのか？

A) 各競技の協会に地域割りルールを決めてもらう予定。いじめなどのトラブルの際は別チームに移籍できるなど柔軟に対応したい

Q) 宝塚市中心部より川西市の方が近い。他市のチームは紹介してもらえないのか？

A) 宝塚市域には川西市、伊丹市、西宮市に接している地域もあるが、他市の場合は団体によって受け入れ要件が異なり、宝塚市 HP への掲載許可も得られるとは限らないため、すぐには対応できない

Q) スポーツクラブ 21 のほとんどが地域移行クラブにならないのは何が原因なのか？問題点を解決したらスポーツクラブ 21 で子どもチームの卒団を中学生まで引き上げる団体も出てくるのでは？

A) ある競技団体からはスポーツクラブ 21 のチームは中体連の公式試合に出られないのが問題と聞いている。柔道など指導資格が必要な競技団体もある

Q) 受益者負担により経済格差が子どもの体験格差につながる。貧困家庭への援助は？

A) 現在の就学支援制度は学用品費（ノートや鉛筆など）、給食費、修学旅行費等を支援する制度だが、予算が確保できれば地域移行クラブに参加する費用への支援にも拡充したい

意見）市のスポーツセンターや花屋敷グラウンドも地域移行クラブとして協力してほしい